

枚方市 SDGs 取組方針

～人とまち、その未来の笑顔につなげていくため、わたしたちは行動する～

令和3年7月

1. はじめに

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された国際社会全体の開発目標です。17の目標と169のターゲットから構成されており、世界の課題を経済、社会、環境の3分野に大きく分類しています。そして、これらの課題に統合的に取り組み、解決していくことで、2030年までに誰一人取り残さない世界の実現を目指すとされています。取り組みの推進にあたっては、今できることの積み重ねではなく、2030年のゴール（あるべき姿）に向け、逆算して現在の行動を決める「バックキャストिंग」の考え方が重要とされています。

国では、SDGsの達成に向け「SDGs実施指針」を策定しており（2016年策定、2019年改訂）、この指針内に掲載されている8つの優先課題の解決のために推進される具体の施策として「SDGsアクションプラン」が位置づけられています。さらに、「まち・ひと・しごと創生基本方針2021」の中にもSDGs達成のための取り組みが位置づけられ、各自治体においても、地方創生の観点から取り組みが進められているところです。



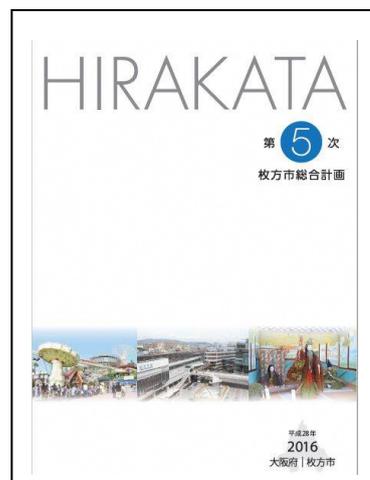
2. 策定の目的

SDGs が掲げる「誰一人取り残さない」という理念は、公共の福祉を増進する地方自治体においても通じるものです。また、貧困、飢餓、健康・福祉、教育、ジェンダー、環境といった SDGs のテーマは、本市のあらゆる施策と深くつながっており、本市も国際社会の一員として SDGs の達成に向けてさらなる取り組みを進める必要があります。そのため、本市における SDGs の取り組みについて方針を策定し、まちづくりの根幹に SDGs の浸透を図っていきます。

3. 基本的な考え方

(1)総合計画に基づく施策との連動

本市では、最上位計画である総合計画において、「めざすまちの姿」を「持続的に発展し、一人ひとりが輝くまち」と掲げ、様々な施策を推進しています。この「まちの姿」は、世代にかかわらず、ともに支え合いながら一人ひとりが輝くまちのことであり、SDGs の理念との親和性が高いものです。本市におけるめざすまちの姿の先に、SDGs がめざす 2030 年のあるべき姿があると捉え、社会環境の変化や多様化、複雑化する市民ニーズにも的確に対応しながら、SDGs に連動させた施策展開を進めることで、SDGs の達成に向けた土壌づくりと意識醸成に取り組みます。



(2)メインテーマは「ジブンゴト」プロジェクト

SDGs は多様化、複雑化する社会課題の解決に向けた包括的な取り組みであるとともに、17 の目標が相互に関連し合うように設定されており、一つの行動が第一歩となってさまざまなゴールにつながっていきます。目標年である 2030 年までにゴールを達成するためには、自分にとっての SDGs は何かなど、一人ひとりが SDGs の本質を捉え、「ジブンゴト」として、日々の生活の中で行動に移していくことが大切です。また、本方針のサブタイトルにもあるとおり、市民・学生・事業者など、本市に関わる全てのステークホルダーが、人とまち、その未来に心を寄せ、笑顔の輪をひろげ、つなげていくための行動を起こすことで、SDGs の達成に向けた取り組みを推進します。

4. 基本的な考え方を踏まえた取り組み

(1)「めざすべきまちの姿」の実現

2030 年のあるべき姿に向けて、総合計画における施策目標につながる、より効果的な事務事業の立案及び選択を行っていきます。また、各事務事業においては、適切なロジックモデル、指標、目標値を設定することで「めざすべきまちの姿」の実現に向けて着実に取り組んでいきます。

(2)各種計画・施策との連携

総合計画における28の施策目標及び4つの計画推進（施策目標の実現に向けたまちづくりの基盤となる取り組み）とSDGsの17の目標との関連整理を行うとともに、各分野別に庁内各部署が個別に定める計画や施策についてもSDGsと関連づけることで、それぞれの業務を通して全庁的な推進につなげます。

(3)まちづくり提案事業等を通じた担い手育成

SDGsがめざす持続可能な社会を実現するには、達成目標年である2030年に社会を担う今の子どもたちが、様々な課題を「ジブンゴト」として捉え、その解決に向けて行動できる力を身につけ、さらに次の世代へと継承されていくことが重要です。そのため本市では、市内の中学・高校・大学を対象に、様々な課題等を解決するアイデアを募集し、市や事業者が連携して実現する「まちづくり提案事業」の取り組みなどを通して、SDGsの趣旨を踏まえた持続的な社会づくりの担い手育成に取り組みます。



【市内高校生によるSDGs課題研究発表会(2020.10)】



【高校生による提案(一部)】

(4)公民連携プラットフォームの活用

SDGsの達成に向けては、行政だけでなく多くの関係者が連携して取り組むことで、課題解決の幅が広がります。本市では、民間事業者や大学、研究機関などの事業者と連携し、市と事業者それぞれのアイデアやノウハウを活かした取り組みによって、本市が抱える様々な課題を解決するための「公民連携プラットフォーム」を構築しています。この仕組みを活用し、SDGsの達成につながるアイデアや提案を持つ事業者と連携した取り組みを進めます。

5. SDGs の推進体制について

SDGs の推進にあたっては、職員一人ひとりには目的意識を持ち、ジブンゴトとして行動するなど、人材育成基本方針に基づく考量と行動を取り、庁内各部署は総合計画に基づく各施策、事業等を通じて総合的かつ効果的に進めるために、相互に連携しながら取り組みます。また、総合計画と連動した取り組みを着実に進めるため、総合計画等推進委員会において、総合計画の施策評価による進捗管理を行うとともに、PDCA サイクルを回すことで、継続的に改善を図っていきます。

【イメージ図】

